

地域組織活動を通じて、安心して子どもを産み育てられる社会の実現をめざす

大分県別府市〈福祉保健部児童家庭課〉

●地域の状況

【人口】 120,182人(うち就学前児童 6,540人、小学生 5,713人)

【世帯数】 59,249世帯(平成23年6月31日現在)

【概況】 別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、大分県第二の都市である。

市内には、別府八湯と呼ばれる8つの温泉エリアが点在し、古くから日本を代表する温泉地として賑わい、年間の観光客数は1100万人を超える国際観光温泉文化都市であり、宿泊業などの観光産業や小売業を中心として第三次産業就業者の割合が8割を超えているのが特徴。

人口は減少傾向にあるが世帯数は増加している。

●具体的な母親クラブ等の地域組織活動の内容

○親子及び世帯間の交流文化活動

親子料理教室・地域でのチャレンジ学級での食育指導。

市主催や町内主催のお祭りに参加・出店での収益金で本を購入、小学校等へ寄付。



通常活動としてのこいのぼり作り。



こども英語教室にて。
講師と参加の子どもの見守りを行っている。

○児童養育に関する活動

食中毒防止講習・・・家庭科教諭不在時に中学校へ出向き、食育指導を行っている。

防災対策講座・・・市、担当課へ出前トークを依頼。講習会を開催。

○児童の事故防止等活動

非行防止活動・・・学校と連携し、見回りを行う。

公園遊具の安全点検・・・地域の公園の遊具の安全点検。危険な箇所は市へ報告。

○その他児童福祉の向上に寄与する活動

環境美化清掃・・・子どもといっしょにゴミをひろいながら、危険な場所のマップ作りをした。（防災活動の一環でもある。）



活動拠点の中央公民館で地域交流のひとつとして、あつたか祭りに参加。

●母親クラブ等の地域組織活動と関係機関等との連携

市町村担当課は、母親クラブ等と関係機関等との間接的な橋渡しを行っている。



大分県地域活動連絡協議会主催の研修会参加。

○児童館との連携

母親クラブの育成をめざして活動し、次世代の母親クラブを担う人材を育成する。

●市町村として母親クラブ等の地域組織活動を活用することのメリット

地域組織活動を活用によって、安心して子育てができる環境づくりを推進

できると考えている。

核家族の進行、児童虐待の増加など、子どもや子育てをめぐる環境の複雑・多様化により家庭や地域における子育て機能の低下といった問題が生じている中、母親クラブの地域組織活動は孤立しがちな母親等の地域社会への参加する機会となり、孤立化による育児不安を解消し、虐待の予防にもつながるものと考えている。

●母親クラブ等の地域組織活動を活用するに当たり、工夫している点、ポイント等

- ・ 高齢化しているクラブや若い世代のクラブがあつたりなので、偏りがないようにしている。
- ・ 児童の安全・安心を最優先事項としている。
- ・ 地域の公園の遊具の安全点検の際、子どもとともに参加してもらい、母親目線、子ども目線から点検を行ってもらっている。結果は市の担当課へ報告している。

●母親クラブ等の地域組織活動に期待していること。

地域に根ざした活動をしているため、行政だけではできないような、きめの細かい子育て支援等ができる。

安心して子どもを産み育てられる社会の実現をめざす中での取組として、母親クラブ等の活動には大いに期待している。